

人権の尊重／CSR教育・啓発

人権の尊重

人権に関する基本的な考え方

長谷工グループでは、「長谷工グループ行動規範」の中で「人権の尊重」を明文化しています。グループの社員一人ひとりが人権に対して理解を深め、常に高い意識を持って業務にあたることができるよう、グループ内での浸透を進めていきます。

長谷工グループ行動規範(抜粋)

2. 行動の基本姿勢
 - (4) 人権の尊重

あらゆる企業活動の場において、すべての人の基本的人権を尊重し、また、出生、国籍、信条、宗教、性別、心身における障害の有無等の理由による差別や個人の尊厳を傷つける行為を行わない。

人権尊重のための取り組み

長谷工グループでは、人権に対する意識を醸成するための取り組みの一つとして、新入社員の導入研修で人権に関するテキストを配布しています。

また、派遣社員やパートタイマーを含むすべての従業員を対象に、就業規則等でハラスメントに該当する行為を禁止しています。ハラスメントを予防するために、社員向けのeラーニングで定期的に教育を行うほか、社員に配布している『コンプライアンス通信』や社内掲示のポスターを通じて、啓発を行っています。加えて、社員からのハラスメントに関する相談は、内部通報制度における社内及び社外の窓口にて受け付けています。

さらに、結社の自由や団結権、団体交渉権、団体行動権を企業として尊重すべき基本的な要素と考え、その旨を労働協約の中で定めています。

CSR教育・啓発

長谷工グループでは、「CSRビジョン」「CSR方針」に基づき、すべてのグループ社員がCSRを理解し、日常業務の中で実践していくため、グループ内でのCSR教育・啓発に力を入れています。

2018年度は、グループ各社の役職者向けにCSRに関する講演会の開催、またグループ社員を対象にeラーニングを使用しての学習を実施しました。

これからも長谷工グループでは、社内報やインターネットなどを活用し、最新のCSRの動向やグループ内でのCSRの取り組みに関する事例などを積極的に紹介していく、社員一人ひとりの行動につながる教育・啓発を継続します。



CSR講演会の様子

社会貢献活動

生物多様性保全活動

長谷工グループ生物多様性行動指針

基本理念

長谷工グループは、「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」をグループ理念に掲げ、企業活動を行っています。人や企業は、自然環境からの様々な恵みを享受していることを認識し、生物多様性に配慮した企業活動を行うことにより、この保全並びに改善に資するよう努め、より快適で持続可能な地球環境を目指して参ります。

行動指針

1. コンプライアンス

生物多様性保全に関する法令等を順守するとともに、関連政策や社会的要請を把握し、その知見を事業活動に反映するよう努めます。
2. 教育啓蒙

生物多様性の保全活動のために必要な知識・法令等の情報を、社内教育等を通じて普及展開し、生態系の価値に対する社員の認識を高めます。
3. 建設事業における配慮

生物多様性に配慮した計画・設計・提案の実施、工事による影響の回避・低減に努めます。
4. 研究開発

生態系に関する情報や技術的知見の集積を行い、関連する技術研究開発を進めます。
5. 社会との協調

地域の環境保全活動や学会・協会活動への参加を通じて、社会への貢献に努めます。

「長谷工の森林(もり)」プロジェクト

「長谷工の森林(もり)」プロジェクトは2017年2月に迎えた80周年記念事業の一環で、「社会貢献」「未来志向」「地域との連携」をテーマに2017年に長野県茅野市、2018年に和歌山県田辺市で活動が始まりました。これからも地域の皆さんとともに、グループ全体で森林整備活動に積極的に取り組んでいきます。

長野県茅野市での森林整備活動

2018年6月2日、9月29日に活動を実施しました。6月2日は七ヶ耕地財産区をはじめ、長野県林野部、諏訪地域振興局の協力のもと、グループ社員とその家族87名が、森林内の小木伐採や倒木等の片付けを行いました。9月29日はグループ社員とその家族70名が参加し、地元業者による大木伐採のデモンストレーション見学と森林内散策を行ながら、生物多様性の意義や重要性を学びました。

和歌山県田辺市での森林整備活動

2018年5月19日、第1回目の活動を実施しました。グループ社員とその家族61名が参加し、除幕式、記念植樹の後、中辺路町組合をはじめ地域の方の協力のもと、コナラ・ヤマザクラなど500本に及ぶ植樹を行いました。今後も地域の皆さんとのつながりを大切に、末永く活動していきます。



集合写真(長野県茅野市)



集合写真(和歌山県田辺市)



苗木の植樹(和歌山県田辺市)

東京グリーンシップ・アクションへの参加

東京都が指定する保全地域において、都・NPO法人・企業が連携して行う自然環境保全活動「東京グリーンシップ・アクション」に2012年から参加しています。

2018年5月26日、長谷工グループで6回目となる八王子滝山里山保全活動に参加しました。今回参加したグループ社員とその家族を含めた46名は、東京都環境局をはじめNPO法人自然環境アカデミーの協力のもと、自然観察、竹の伐採や下草刈り、倒木処理、道づくり、竹細工などを体



八王子滝山里山保全活動



八王子滝山里山保全活動



清瀬松山緑地保全活動

験しました。また、初めての試みで「池の整備」も実施しました。

また、11月17日、長谷工グループで7回目となる清瀬松山緑地保全活動に参加しました。

今回参加したグループ社員とその家族を含めた54名は、東京都環境局とNPO法人環境学習研究会、清瀬の自然を守る会の協力のもと、草刈り、除伐、落枝整理や木柵交換、自然工作を行いました。

藤前干潟周辺での清掃活動に参加

藤前干潟は、多くの渡り鳥が訪れる国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されています。プラスチックによる海洋汚染が世界的な課題として大きな話題となっていますが、藤前干潟周辺でも、大量のプラスチックごみの長期残留が深刻な問題となっています。

長谷工グループでは、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会主催の藤前干潟周辺での清掃活動に参加をしました。

2018年5月26日、「春の藤前干潟クリーン大作戦！」に



春の藤前干潟クリーン大作戦



藤前干潟ペットボトル一掃大作戦



河川敷にて清掃

グループ社員とその家族30名で参加しました。当日は曇天ではありましたが、たくさんの参加者の方と一緒に藤前干潟周辺で清掃活動を行いました。

また、12月15日、「藤前干潟ペットボトル一掃大作戦」にグループ社員と協力会社社員23名で参加しました。当日は市民や学生の方を含む合計110名の参加者が集まり、藤前干潟周辺で、約1万2,000本のペットボトルを回収し、非常にやりがいのある活動を実施する事ができました。

大阪府主催「第16回共生の森 植樹祭」に参加

2019年3月9日、大阪府主催の「第16回共生の森 植樹祭」にグループ社員とその家族49名・協力会社社員2名を含む366名の市民ボランティアが参加し、約2,100m²の区域に



集合写真



植樹



植樹

1,008本の苗木を植樹しました。今後の木々の成長が楽しみになりました。

地域の環境を守る活動

事業所周辺の清掃活動

長谷工テクノ尼崎機材センター周辺の清掃活動

地域で活動を行う企業の責任として地域貢献も兼ねて清掃活動を行っています。2017年に引き続き長谷工テクノ尼崎機材センター周辺道路・側溝の清掃を、2018年12月26日、長谷工テクノ社員3名と協力会社社員4名が行いました。



名古屋市港区港明作業所周辺「みなとアクルス」での清掃活動

名古屋市港区港明作業所では、中川運河沿いに開発予定の「みなとアクルス(minato AQULS)」の一部を建設しています。「みなとアクルス」の関係者により港北公園や運河周りの清掃を年間数度実施しており、2018年9月に続いて2018年12月7日に開催された清掃活動に、同作業所から2名が参加しました。

地域の清掃活動・キャンペーンへの参加

長谷工グループでは、事業活動において関連の深い地域での清掃活動等に参加しています。

芝地区クリーンキャンペーンに参加

東京都港区主催の「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち！～」に2009年より参加しています。2018年度は3回開催され、グループ社員延べ109名が参加し、芝本社ビル周辺地区での清掃や、通行人への歩行喫煙防止の呼びかけを行いました。



大阪マラソン“クリーンUP”作戦に参加

大阪市主催の「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に2006年から参加しています。2018年度は11月25日開催「大阪マラソン2018」に先立ち、全国から参加するランナーをきれいな街並みで迎えられるよう、2018年11月20日、21日の2日間でグループ社員延べ480名が参加し、事務所周辺の清掃活動を行いました。



地域課題への貢献

明日香村プロジェクトの推進

奈良県の中央部に位置する明日香村は、律令国家体制が形成された地であり、飛鳥時代の歴史遺産が周囲の自然環境と一体となっていることから、「日本の心のふるさと」ともいわれています。当社では、2015年より明日香村の村内産野菜を長谷工グループが管理するマンションで販売するなどの支援活動を続けてきました。2017年9月には、明日香村及び(一財)明日香村地域振興公社と、古都飛鳥の歴史保全活動並びに明日香村の産業及び地域活性を図るためのプロジェクトに連携して取り組み、相互に協力することを目的とした「官民連携に関する包括協定」を締結。「明日香村を堪能する」「明日香村を経験する」「明日香村に居住する」の三つのテーマ別にプロジェクトを推進しています。



明日香村ふるさと納税の寄付

当社では、「企業版ふるさと納税制度」を活用し、2018年から3年間、毎年明日香村に寄付します。2018年度分は、日本の棚田百選にも選ばれている明日香村の「稻渕の棚田」をはじめとした農地の景観維持に必要な①農業機械の購入、農業機械の保管施設の建設、②古墳の整備事業に充当されています。

2019年度分は、飛鳥駅周辺の魅力強化プロジェクト、マラソン大会による地域活性化プロジェクトに活用されます。

明日香村「飛鳥朱雀大使」に任命

当社は、明日香村へ企業版ふるさと納税を行うとともに、同村及び明日香村地域振興公社と官民連携包括協定を締結し、明日香村を「堪能する」「経験する」「居住する」3つの基本プロジェクトに取り組み、地域振興において積極的に参画しているという理由から、明日香村より飛鳥朱雀大使(明日香村応援企業大使)に任命頂きました。2018年11月3日、同村にて委嘱状交付式が開催されました。

マンション居住者向け貸し農園「長谷工明日香村コミュニティファーム」

長谷工管理ホールディングスでは、明日香村の景観と農業を経験してもらう取り組みとして、貸し農園「長谷工明日香村コミュニティファーム」を2018年5月にオープンしました。農園利用者と地域との交流促進を進めています。



収穫体験イベントの様子

社会福祉活動

チャリティイベント「おおさかグレートサンタラン」へ初参加

2018年12月2日、大阪城公園で開催された「第10回おおさかグレートサンタラン」にグループ社員とその家族50名が参加しました。この活動は、サンタクロースの衣装を着て楽しく走って、参加費の一部で病気と闘う子ども達へクリスマスプレゼントを贈るチャリティイベントです。当日は晴天に恵まれ、参加者全員で楽しく爽やかな汗を流しました。



集合写真

献血に協力

日本赤十字の「献血サポーター企業」として、毎年献血活動に取り組んでいます。2018年度は、東京芝本社ビルと大阪平野町ビルで2回ずつ実施し、延べ314名が献血を行いました。

社会貢献活動の推進

長谷工社会貢献活動表彰制度

長谷工グループでは、社員の自発的な社会活動への取り組みが、社会課題への意識を醸成し、事業活動におけるさらなる価値創造や持続可能な社会の実現につながると捉え、社会貢献活動のより一層の活性化を図っています。

社員一人ひとりの意識を高めるとともに、個人・企業としての社会貢献活動に対する評価を明確にする目的で「長谷工社会貢献活動表彰制度」を運用し、特に顕著な活動をした

社員・団体を表彰のうえ感謝状を贈呈しています。

2018年度は会社主催CSR活動及び個人ボランティア活動を延べ1,401名、企業活動上の社会貢献活動を4団体が活動しました。そのうち特に積極的に活動した7名と2団体を表彰しました。今後も長谷工グループにおける社会貢献活動をより活性化するべく制度を運用していきます。



関西地区 個人ボランティア活動表彰



東京地区 個人ボランティア活動表彰

寄付・協賛

東京大学講堂及びラウンジのリノベーション「HASEKO-KUMA HALL」

長谷工グループは、東京大学が工学部11号館「講堂」及び「ラウンジ」を学生がより学び易い空間へリノベーションするにあたり、設計・施工を寄付します。新ホールの名称は「HASEKO-KUMA HALL」とし、2020年1月に開設する予定です。



「講堂」完成予想パース

本ホールが、東京大学の最先端の学術研究・教育活動を広く国内外に発信し、国際社会との連携を密に図るシンボリックな場となることを目指しています。



「ラウンジ」完成予想パース

「秩父宮賜杯 第51回全日本大学駅伝」に特別協賛

長谷工グループは、2019年11月3日に開催される「秩父宮賜杯 第51回全日本大学駅伝対校選手権大会」に特別協賛しています。「櫻をつなぐ」駅伝競技で、個々の成長とチームワークの強化に励む選手たちと、長谷工グループがモットーとする「グループ各社が連携し、社員がつながる」というあり姿に、共通しているものがあると考え特別協賛に至りました。社員一丸となって盛り上げることで、スポーツ振興及び地域社会の発展に貢献していきます。



社員による応援の様子(地区選考会)

安藤忠雄氏「こども本の森 中之島」への寄付

当社では、本や芸術文化を通じて子どもたちが豊かな創造力を養ってもらう施設として活用してほしいと建築家の安藤忠雄氏が設計・建設し、大阪市へ寄付される図書施設「こども本の森 中之島」へ2018年から寄付を行っています。寄付は5年間継続する予定で、大阪の子どもたちの創造性、感性を育む場として運営される本図書施設の蔵書の購入・施設の管理運営に活用されます。



「こども本の森 中之島」
完成予想イメージ

「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」への協賛

長谷工グループでは、2021年にアジアで初めて開催される第10回「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」にメジャーパートナーとして協賛しています。「ワールドマスターズゲームズ」は、4年に一度開催される、30歳以上の一般成人・中高年のための国際スポーツ競技大会です。



「SEIJI OZAWA MATSUMOTO FESTIVAL」への協賛

「セイジ・オザワ松本フェスティバル」は、偉大な音楽教育者故齋藤秀雄氏の名を冠して、サイトウ・キネン・フェスティバル松本として開催された国際的な音楽祭です。指揮者・小澤征爾氏とサイトウ・キネン・オーケストラが中心となって、長野県松本市で1992年より毎夏開催されています。

当社では、「国際的な音楽祭を日本で」という主旨や次世代若手音楽家の育成、小中学生の音楽情操教育支援という目的に賛同し、開催当初から協賛してきました。フェスティバルへの協賛を通じて、芸術・文化活動の発展に引き続き取り組んでいきます。



ニセフへ寄付されています。

また大阪地区では緑の地球防衛基金に寄付し、地球上の緑の保全・再生、砂漠化防止及び環境保護の推進に寄与することを目的に、アジアやアフリカでの植林活動に役立てられています。

使用済み切手・ペットボトルキャップの寄付

長谷工グループ東京地区では、社員が集めた使用済み切手2.5kgを回収し、港区社会福祉協議会みなとボランティアセンターに寄付しました。換金された売却益はボランティア活動推進の事業資金として活用されています。また、ペットボトルキャップ752kgを回収し、港区リサイクル事業協同組合に寄付しました。リサイクル業者へ売却の後、売却益はユ